富士市の人口
昭和33年2月1日現在
総人口 42,908人
男 21,389人
女 21,519人
世帯数 7,957
（住民登録調）

広報ふじ

（毎月25日発行）

静岡県富士市平垣279番地
発行所 富士市役所
発行人 富士市長 遠藤脩治
印刷所 加藤印刷所
No. 30
昭和33年2月25日発行

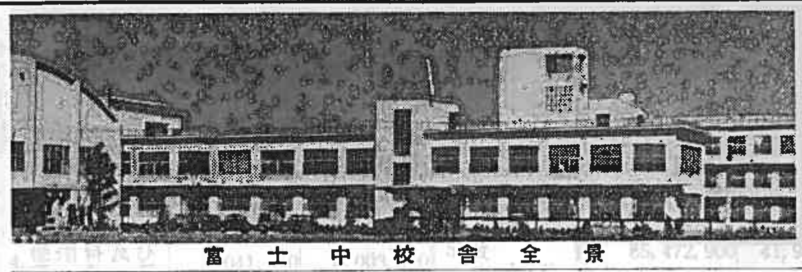
県下一を誇る白亜の学舎

総工費実に一億五千万円

富士中竣工式盛況裡に終る

秀麗富士を背景に偉容堂々とそびえ立つ文部省指定モデルスクール市立富士中学校舎の竣工式は二月九日午前十時半から同校講堂兼体育館で盛大に行われた。この日松永文部大臣代理官、高瀬参議院議員をはじめ斉藤県知事、地元の各種団体代表など五百余名が参列した。まず岩間収入役の開会の辞についで遠藤助役の富士中校舎建設工事の経過報告があつて続いて遠藤富士市長、漆畑議会議長より「祝竣工」についての祝辞が述べられた。終つて遠藤市長より敷地提供者、設計および工事請負者などに感謝状と記念品がそれぞれ贈呈された。ついで来賓の祝辞にうつり松永文部大臣代理官、斉藤県知事、高瀬参議員などから意義あるお祝いの言葉がおくられました。式後参列者一同が祝い冷酒を汲み交し同零時十分すぎ盛況裡に竣工式典の幕を閉じた。

文部省モデルスクール



富士中校舎全景

市立富士中学校は六、三制の実施により昭和二十二年二月当時の凸版印刷富士工場の分室であつた施設を買収してこれに改築整備を加え六、三制の市立富士中学校として開校した。すなわち当時の校舎の一部が現在の富士市役所庁舎として使用しているのであります。当時の学校の敷地面積は僅かに三、五〇六坪の校舎面積七八二坪（延一、四三六坪）で敷地、校舎とも甚だ狭隘でしかも逐年生徒数は激増しいずれも拡張の要に迫まられていましたが、全くその余地なくあまつさえ学校の位置するところは市の中心繁華街にあつて将来市の発展策の面からいつてもこれを阻害するおそれがあり加えて周辺には料理飲食店等の接客業が軒を連らね、教育風教上まことに看過できないものがあつた。また当時の校舎は木造のため人家の密集地帯にあるため火災に見舞われる公算が多くすでにさる昭和二十五年の四月と昭和二十六年八月の両年度にはあやうく類焼の危険にさらされたがようやくその難をまぬがれた次第であります。その為早くより同校舎の好適地に鉄筋校舎の移転改築が要望されたのであります。

第一期工事は二十八年二月に着工

たまたま昭和二十六年現遠藤市長が選ばれ町長に就任されるやその要望に応え、これが実現を期することになつたのであります。よつてこれを議会にはかり全員の協賛を得てここに富士中学校移転改築特別委員会を設け速かにこれが実現を期し、直ちに学校敷地の選定および買収に着手した。幸い地主をはじめ小作の人たちの積極的な協力を得て、当時の富士町中島天神原の敷地七、七四七坪を一千二十万三千円を以て買収を完了、同二十七年二月に文部省にモデルスクール建築の許可の申請を行なつた結果、同年五月二十九日に正式許可を受け同二十八年二月八日第一期工事として鉄筋二階建普通校舎八一四坪の指名競争入札を行ない、静岡市の安藤組が二千五百五十二万円で請負い同月十二日現地において地鎮祭を挙げ突貫工事が押し進められた。ついで同月二十六日電気並びに衛生工事の指名入札を行ない、電気工事を七十五万八千円で関東電気沼津支社が、衛生工事を静岡市の八木商店が二百三十六万円を以て請負い、かくて同年九月十九日には定礎式をあげ早くも十二月十五日に竣工検査をみて第一期工事は全く完了したのであります。

遠藤市長の祝辞（会場）

第一期は安藤 石井組は二、三期

第一期工事に続いて昭和二十八年十二月二十一日、第二期工事として鉄筋二階建特別教室五六八、七坪の見積入札の結果、これを二千七百万円で富士市の石井組が請負い、同二十九年二月十一日に地鎮祭を挙げた。つぎに同年五月四日に電気並びに衛生工事の指名競争入札を行ない電気工事を静岡東海電気ＫＫが百三十五万一千円で衛生工事を静岡市の八木商店が百八十九万円でそれぞれ請負つた。また追加工事として同年八月五日塔屋二七坪を石井組が百三十万円で施行した。

第三期工事は管理室など

第三期工事は昭和三十年一月二十日に随意契約により鉄筋二階建、一部三階の管理室並びに教室七四一坪の主体工事と電気衛生工事を石井組において三千七百五十万円で請負い、同年十月十五日に定礎式を挙行して十一月十八日に竣工検査をみたのであります。ここに第一期と二、三期を通じ文字通り県下一を誇るモデルスクール富士中校舎の完成となつた。

講堂兼体育館完成

昭和三十二年十月二十六日から三十日までの五日間にわたり、第十二回国民体育大会バドミントン競技が富士市で華々しくくりひろげられました。このため富士市体育協会が主軸となつて社団法人体育館を組織、昭和三十二年四月二十三日延五八六、三二坪を石井組が工費二千六百五十万円を以て着工、十月十二日竣工をみました。ついで社団法人体育館は十月十三日教育財産として市に引継がれ、ここに富士中学校講堂兼体育館として教育の振興に市民の体育向上に、あるいは文化の交流の殿堂としてその利用価値はまことに大きいものがあるものと信じます。

モデルスクール完成に際して

富士中学校長 塩川辰義

遠藤市長さんが、畢生の大事業として一つの建設に着手されたモデルスクール富士中学校が、その御熱意と御協力を中核とし、関係方面の方々並びに各界や市民各位の絶大なる御協力支援を得て、見事に工事完了となつたのは昨秋十月のことであります。最良最適の環境に校地を選定され、施設設備に最善の工夫が施された規模壮大にして堂々たる偉容を持つ白亜の教育殿堂富士中学校は、独り遠藤市長さんの御自慢の種なるのみならず、四万富士市民の一つの大きな誇りでもあると思うのであります。

さる二月九日落成祝賀の式が新装なつた体育館に於て挙行され御臨席の来賓からも県下第一の校舎だ、全国一の中学校体育館だ、との御祝辞と、生徒も教師も設計に負けぬよう頑張つて貰いたいとの激励の辞を賜わり、参加の職員生徒一同感銘を新たにしその責任の重大さを痛感したのであります。

環境絶佳、施設完備のモデルスクール富士中学に学ぶ一六〇〇の生徒は、斉しく自分達の幸福を全身に感じ、その名に恥じぬモデル中学生になろうと決意しておりまして、隠れた善行生徒も数々あらわれるようになつて参りましたことは全校の喜びとするところであります。

かくてこそ、名実相備わり、形質相伴つた真の学園天下の富士中が完成され、市長さんや関係各位並びに市民の皆様の御好意ご期待にお応えすることが出来るものと信ずるのであります。

秀麗富岳を背に 環境、施設共に日本一

かくて富士中学校舎は前後六ケ年の歳月を要し、この間敷地買収費を含めて約一億五千万円の巨費を投じ文部省指定のモデルスクールとしてまことに堂々たる白亜の学舎が秀麗富岳を背景とした環境絶好の地にその偉容を誇ることに至つたのであります。

なお最後にこの竣工の陰には議会議員をはじめ敷地提供者の方々の御尽力は勿論のこと設計、監督者や各請負業者の犠牲的精神、PTA、一般有志各位の絶大なる御好意が結集してここに大きな成果となつたのであります。

新らしく戸籍が作り替えられます

四月一日から、古い戸籍を新しい制度による戸籍に作りかえることについては、既に皆さんも御承知のように、昭和二十三年一月一日から新戸籍法が実施されて、これまでの日本の戸籍はいわゆる封建的な家族制度、すなわち戸主の下にその家族全員が一つの戸籍におさめられておりましたが、新憲法により家の制度が廃止され、従つて戸主もなくなり、戸籍は夫婦とその子を単位として作ることに改められました。新らしい制度による戸籍は次のような三つの基準によつて作られるのです。

一、一組の夫婦とその夫婦の子ごとに戸籍を作る。

二、戸籍の最初に記載されている者（昔は戸主といいましたが新制度では戸籍の筆頭者といいます。）と、その配偶者以外の者に子が生まれたり、又は養子をもらつたりしたときは、その者について必らず新しい戸籍を作つてその子又は養子はこの新しい戸籍に入籍させます。従つて親、子、孫という三代にわたる者が一つの戸籍内に入らない事になります。

三、配偶者のある者が、配偶者と共に他の夫婦と養子縁組等によつてその戸籍に入籍する場合には、その夫婦を養親の戸籍に入籍させることなく、必らず養子夫婦の新らしい戸籍を作り、二組以上の夫婦が同じ戸籍に入ることがありません。

親と子と孫、又はおじ、おば、おい、めい等が一つの戸籍に入つている従前の古い戸籍がこの四月一日から向う三ケ年の間に全国一斉に作りかえることになつたのです。富士市に於ては、三十三年度中にまず後に記載する区域に本籍のある方の戸籍を作りかえます。なお昭和二十二年以前、婿養子縁組婚姻で妻の戸籍に入つた人は、新戸籍では妻の名を一番先に書き、夫はその次に書くことになつていますが、夫の名を先にしたい時は夫婦から申出があれば夫を筆頭者として作りかえます。希望のある方は早く戸籍課又は岩松、田子浦支所まで申出て下さい。

戸籍改正予定計画

一、大字本市場新田、長通、松本中島、加島町、柚木、平垣、本市場、本町、柳島、川成島、宮島、岩本の全戸籍（昭和三十三年四月から昭和三十四年三月までに改正の予定）

二、大字蓼原、五味島、水戸島、十兵衛、上横割、五貫島、中丸鮫島、松岡四〇番地の甲から千七十番地の二まで（昭和三十四年四月から昭和三十五年三月までに改正の予定）

三、大字下横割、森島、森下、宮下、前田、田子、松岡千七十一番地から無番地まで（昭和三十五年四月から昭和三十六年三月までに改正の予定）

（戸籍課）

建設急ぐ旭化成

多忙の開発特別委員会 連日に亘り地区民と交渉

一月は本会議を開会しなかつたが、目下の重要課題である旭化成富士工場用地の問題について年末以降議会は多忙を極め全員協議会田子浦地区開発特別委員会等ひん繁に会議が開催され、慎重にして且真剣にこの問題と取り組んで懸命な努力を続けております。

そして一月二十三日田子浦小学校に於て田子浦地区関係部落の代表委員と会談し、用地の区画決定につきこれを発表すると共に今後の協力方を懇請し、その後二月一日を期し各関係部落へ全議員を動員し分担して懇請に赴き意見を交換し、又は関係者の卒直にして切実な声を聞きつつ殆んど連日に亘り会談し話合いを進めている現状であります。

田子浦港の築港と旭化成の工場建設は当市としては未曾有の大事業であり工場用地も二十一万五千坪に及ぶ広大なもので関係地主耕作者も二百五十余名に上り職業転換の止むなきに至る方々も多数にて、その影響するところは極めて重大であります。

故に関係地区民の希望等も充分拝聴し一日も早く双方納得の出来る線を見出して円満裡に妥結することを期待し今後共市議会は当局と共に更に一段の努力を傾注する決意でおります。

建設委員会

都市計画富士鷹岡線の国鉄跨線橋建設予定に伴う鉄道南北に亘る用地買収、家屋移転の問題、また都市計画伝法線、県道田子浦線の拡幅改良工事による家屋移転、用地買収等いずれもその交渉は困難を極め意の如く進捗しませんでしたが、建設委員会は佐野委員長初め委員全員殆んど連日に亘りその交渉に当り関係者に懇請に懇請を重ね着々その成果を上げつつあります。

土木事業の成否はこの交渉如何にかかつているのであります。今後共当局と相提携して更に推進する予定であります。

厚生委員会

懸案の火葬場移転改築の問題については市内各所に候補地を物色中でありましたが、地元区民の意向等もありその決定は非常に困難でありましたが、その後鷹岡町と共同設置とする方針が両市町にて諒解が成立したので今後更に具体的の問題につき両市町の合同厚生委員会を開催して協議検討を加える予定であります。

（市議会事務局）

保険課の年間行事

明るい家庭はまず健康から……と富士市役所保険課は課員総動員で市民の保健衛生面に力コブを入れ各種事業を行つています。参考までに三十三年一月から十二月までの保健施設月間の実施計画は次の通りであります。

▼一月—検便▼二月—①一般および歯科検診（血圧測定）②育児相談③検便、検尿▼三月—①母性講座②結核家庭訪問▼四月—①母性講座②結核家庭訪問▼五月—①母性講座②保健映画、スライドによる保健啓蒙運動▼六月—①健康家庭表彰②農繁期（梅雨期を含む）疾病発生の防止運動▼七月—育児相談、受胎調節相談（部落単位）②保健映画、ニュース映画（夏休み前）

（保険課）